

# 動画広告による宣伝方法

---

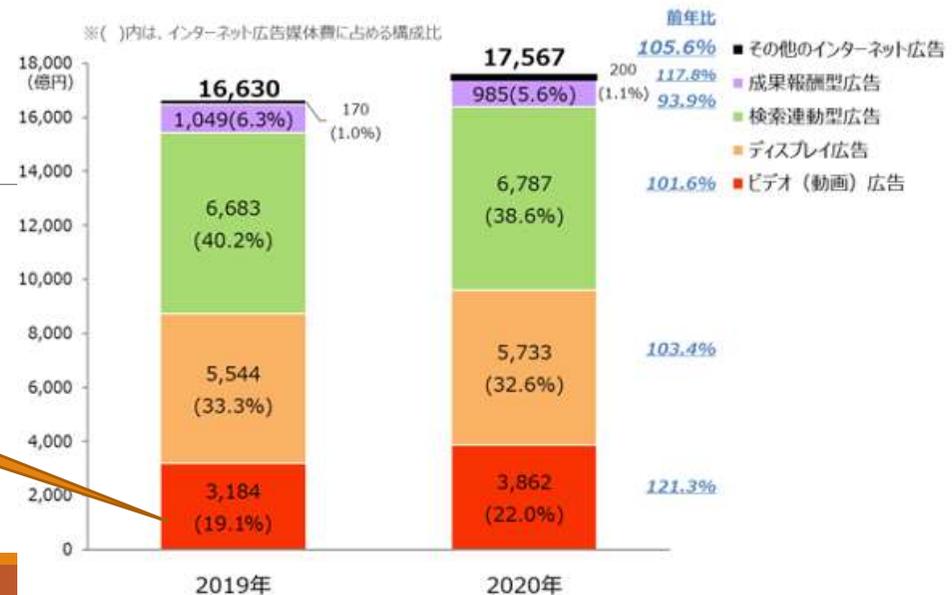
# 動画広告とは

動画広告とはWEB上に流れている広告のことを指します。

よくYOUTUBEなどで動画を見ていると出てくる広告のことです。

動画広告は静止画の広告と違って見る人に対してユーザーの目を引きやすいです。

インターネット広告媒体費の広告種別構成比



動画広告の割合がかなり増えていっています

# 動画広告の種類

## インストリーム広告

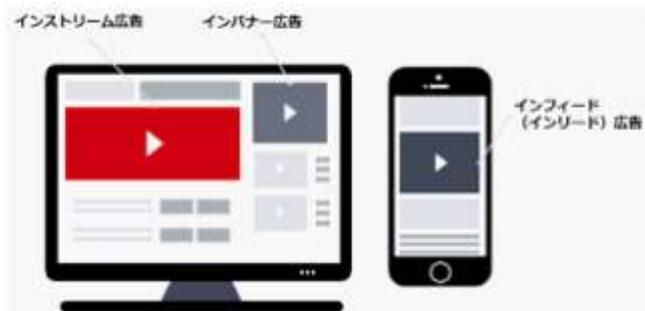
インストリーム広告は、視聴動画と同じサイズで表示される動画広告で、YouTubeなどの動画メディアで主に使用されています。

インストリーム広告の種類

動画が始まる前に流れる:プレロール広告

動画の途中で流れる:ミッドロール広告

動画が終了した後に流れる:ポストロール広告



## インバナー広告

インバナー広告は今までの静止画バナーと同じ広告枠に掲載できる動画広告で、動画メディア以外の媒体でも配信することができます。そのため、日常的に動画メディアを利用しないユーザーにも広くアプローチできる点が特徴です。

## インリード広告

インリード広告は、メディアが掲載しているコンテンツの間に表示される動画広告です。インリード広告は、視認性の高さが大きな特徴です。

# 動画広告のメリット

静止画ではできない「音」や、「動き」を組み合わせることで情報を届けることができるので、他のテキストタイプの広告とは違って作るのに自由度が高く、ストーリー性を持たせることができます。

若い世代を中心にいろいろな人に見てもらえる



# 動画広告のデメリット

撮影から編集までであるため、ほかの広告と比べて時間がかかる。  
コストがそこそこかかる。



# まとめ

---

## メリット

- ・静止画の広告とは違い、「音」や「動き」をつけてユーザーに届けられること。
- ・若い世代を中心にいろんな人に見てもらえること

## デメリット

- ・撮影～編集まであるので時間がかかること
- ・それなりのお金がかかること